

全国・全道いっ
せい宣伝行動
18～20日

畠山和也衆議が激動の国会情勢を緊急報告 佐々木あけみ 4区予定候補も原発ゼロ、泊再稼働反対訴える



18日、札幌駅・紀伊国屋書店前で訴える畠山和也衆院議員と佐々木あけみ4区予定候補。

道内各地で政党ポスター、演説会ポスターの貼り出し、宣伝カー・ハンドマイクでの街頭宣伝を強める「いっせい宣伝行動」に呼応し、畠山和也衆院議員は札幌駅前緊急の国会報告を行いました。畠山議員は、安倍内閣に2つの激震が走っていると「森友学園」疑惑と南スーダンへの自衛隊派遣にともなう「日報」隠蔽問題について報告し、安倍首相と稲田大臣に関わる問題の徹底究明を訴えました。4区予定候補の佐々木あけみさんは、市民と野党の共闘で暴走する安倍政治を打倒し、戦争する国づくりを許さず、格差と貧困をただす新しい政治の実現を訴えました。また、原発ゼロと泊原発再稼働を許さない日本共産党の立場を明らかにしました。訴えを聞いた50代の女性は「必ず国民の前に真実を明らかにしてほしい、頑張ってください」と語っています。

総選挙
道比例

日本共産党の訴えを全道に広げ、50万票・2議席獲得必ず

当別町で

「市民と野党の共闘で立憲主義の回復を」決起集会開く 日本共産党・畠山議員と民進党・池田まき氏が訴える

19日午前中、札幌大通り公園での「総がかり行動」に参加した畠山衆議は、午後、当別町での「戦争法廃止を求める当別の会」結成一周年の集会に参加しました。昨年5区補欠選挙の演説会でも一緒になった池田まき氏と同席、南スーダン自衛隊派遣にともなう「日報」隠ぺい問題などをふまえて、国会情勢をリアルに報告しました。集会では、当別町議会副議長、農協組合長、土地改良区理事長、森林組合長が挨拶、民進党・池田道議も飛び入りで訴えるなど昨年を上回る集まりで、大いに盛り上がりました。



決起集会で報告する畠山議員(左・池田氏)

全道小選挙区候補者・本部長会議開く 候補活動に手ごたえあり、足 出せば「共産党ガンバレ」と声援、自民党支持者も「安倍政治おかしい」と党支持に変化

3月24日、北海道委員会は総選挙勝利へ小選挙区全候補者と本部長の合同会議を開き、候補活動の経験などを交流しました。

青山慶二道委員長の報告を受け、各候補が発言、「有権者の中に踏み出せば党への期待を実感できる情勢」「共感が広がる」との発言が相次ぎました。

「小池質問から局面が変わり、かってない反応」「家から出て訴えをきいてくれる」「宣伝カーの横に止まった車から『ガンバレ、ガンバレ』と声援が」「訪問すると、テレビを見ていたと赤旗を購読してくれた」「私は保守だと言う社長が日刊紙を購読。集金の機会に『党費は幾らなの』と質問され、その後入党に至った」などと、自民党支持者でも「安倍政治チョット待てよ」「安倍はおかしい」と思い、「共産党と話したい」という劇的な情勢です。

有権者の意識の変化に遅れることなく、いまこそ候補者を先頭に得票目標の実現、2議席獲得へ攻勢的活動を展開しようと決意しあっています。



24日・北海道委員会3F会議室での合同会議